

# ANNUAL REPORT 2023

アニュアル・レポート 2023



イメージキャラクター「たわぶる」

国分寺市障害者基幹相談支援センター

## 令和5年度(2023年度) 事業報告

① 経営困難で廃業する相談支援事業所があるなか、計画相談のセルフプランは増加の傾向をたどっています。第2回障害者地域自立支援協議会において、相談支援体制の再構築に向けて早急に新たな会議体を整える提案をしました。

**成果** 相談支援体制についての意見交換会を市と協働して招集し、2つの会議体を作り、新たな取組も始めました。

- ① 「相談支援体制プロジェクトチーム」(2回)  
4法人与市・基幹をメンバーとし、検討を開始しています。
- ② 「協働型機能強化体制プロジェクトチーム」(1回)  
協働型希望の相談支援事業所を募り、4事業所でスタートアップが決まりました。
- ③ 新規相談支援事業所起業への支援(2回)  
相談支援事業所開設を検討中の事業所に、事業運営について説明を開始しました。
- ④ 相談支援事業所連絡会での勉強と意見交換(毎月)  
相談支援事業所黒字化に向けての勉強会を開催、管理者・相談支援専門員との勉強会も開催して意見交換をしています。

② 相談支援部会の取組で、防災対策について検討しました。インターネット上に多数ある災害対策情報の中から、障害のある方に有益な情報を整理して提供する方法を考えました。

- 成果**
- ① 基幹ウェブページに『障害のある方むけの防災情報まとめサイト』を立ち上げました。
  - ② PR用のカード(1,000枚)、ポスター(100枚)を作成しました。
  - ③ 第3回障害者地域自立支援協議会で報告し、市役所・事業所・学校・団体等に上記を配布し、周知を行います。



## 高齢分野のネットワークづくり ～障害・高齢分野との連携～

11月

### 【ネットワーク研修Ⅱ】

8050世帯への支援  
世帯を支えるために、それぞれができること



(報告書)

### 基幹職員の講師派遣(6回)

- ・新任ケアマネ研修
- ・ケアマネ研修
- ・小地域ケア会議
- ・担い手研修
- ・包括全体会
- ・居住支援学習会(8050問題)

### 会議等参加

- ・小地域ケア会議(2回)
- ・新任ケアマネ研修(1回)
- ・ケアマネ研修(1回)
- ・全体会(1回)
- ・4者会議(1回)
- ・関係者会議(3回)
- ・他、打ち合わせ(7回)

延べ参加者

371名



## 支援者の人材育成

### 【ネットワーク研修Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ】 支援者向け虐待防止研修

#### 【相談支援専門員】

- ・新任研修(1回)
- ・ブラッシュアップ研修(8回)
- ・事例勉強会(7回)

#### 【コンサルテーション】4事業所参加

- ・9ケース(10回)×2H=20時間

※4ページの記事をご参照ください。



## 精神保健福祉分野の ネットワークづくり ～精神科病院からの地域移行～

7月

### 【ネットワーク研修Ⅰ】

地域支援機関と精神科病院との連携  
～看護の現場の取組を知り、私たちにできることを考えよう～



(報告書)

- ・退院支援のためのイメージ動画第2弾「グループホームでの1日」を制作し、精神保健福祉部会や相談支援事業所連絡会で視聴した。
- ・基幹内ウェブサイトに掲載
- ・精神科病院に提供
- ・近隣市の精神科病院を訪問 2病院(3回)
- ・当事者ヒアリング 3名(1回)



## 権利擁護・虐待防止

12月

〈いつもと違う〉という変化の気づきか鍵  
幼児から10代のアセスメントが高齢期を幸せにする。



(報告書)

- ※今年度より、福祉関係者は悉皆研修  
会場とオンラインのハイブリッドで実施  
オンライン114名、会場72名参加  
毎年12月に開催し、支援者間に定着してきた  
・権利擁護関係機関連絡会(2回)



## 行政との つながり

- ・障害福祉課
- ・生活福祉課
- ・高齢福祉課
- ・健康推進課
- ・地域共生推進課
- ・経済課
- ・子ども家庭支援センター
- ・子どもの発達センター
- ・保健所

市 - 基幹 定例協議(毎月)

### 緊急把握

緊急度が高まりやすい家庭の把握  
25世帯(29名)

### 緊急入所保護事業

本事業は、市内在住の障害者等を介護している同居の家族が、病気等により家庭で介護ができなくなった場合、事前に他のサービスの利用準備ができていない時に、障害のある方を緊急かつ一時的に施設で保護するものです。

重層的支援体制整備事業  
多機関協働事業  
支援会議 3回出席

## 国分寺市障害者地域 自立支援協議会

64回

### 【全体会】(3回)

### 【相談支援部会】(3回)

- ・相談支援事業所連絡会(毎月)
- ・障害児通所支援事業所連絡会(2回)
- ・地域活動支援センターと社会福祉協議会と合同防災企画(11月)

### 【就労支援部会】(3回)

### 【精神保健福祉部会】(3回)

- ・地域移行等支援連絡会(16回)

### 事務局会議(20回)

### ニューズレター発行(年2回)



自立支援協議会ニューズレター  
(東京都国分寺市公式ホームページ)



## 相談支援事業所 連絡会(毎月)

11カ所

相談支援専門員同士の交流、スキルアップ  
研修、教育との連携、メンタルヘルス等、  
相談員の負担軽減をはかる。

### 【相談支援事業所訪問 全11カ所】

相談支援従事者初任者研修5名、現任研修7名実施した。市内の相談支援体制と相談支援専門員へのサポート等について説明した。  
支給決定基準、消費生活相談、  
相談支援事業所の黒字化、機能強化協働型の仕組み

計92回



## 基幹職員の人材育成

- ・研修(40回)
- ・コンサルテーション(6回)
- ・講演会(24回)
- ・連絡会(6回)
- ・説明会(8回)
- ・情報交換会(2回)
- ・その他(講師を務める)(6回)



## 児童分野のネットワークづくり ～児童から成人への丁寧な引継ぎ～

2月

### 【ネットワーク研修Ⅲ】

「障害のある子どものいる世帯を支える  
～家族への支援の必要性を理解する～」



- ・医療的ケア児支援関係者会議(3回) (報告書)
- ・つくしんぼ・市・基幹三者打ち合わせ(1回)
- ・児童から成人へ相談支援事業所移行ケース検討(3回)
- ・企業との連携



# 国分寺市の基幹相談支援センターとともに



## 国分寺市福祉部障害福祉課 相談支援係長 小林 亜紀



今年度も障害福祉課は基幹相談支援センターの皆様の柔軟な提案力やフットワークの軽さ、そして何より国分寺市の福祉をよりよくしていこうという熱意とともに、さまざまな取り組みを進めてまいりました。

障害福祉サービスから高齢福祉サービスへの引継ぎの在り方について、障害福祉課、基幹相談支援センター、高齢福祉課、地域包括支援センターの四者で検討を重ねていることもその一つです。利用する制度が変わっても引き続き安心して暮らしていただけるよう、60歳を迎えられた頃よりその方の生活の様子を知り、ご本人、ご家族、支援者で共有していくこと、また、高齢福祉サービスの御利用を開始された後のご様子を把握していくこと、などを話し合っています。基幹相談支援センターの皆様が昨年度より市内各地域包括支援センターを回り、障害分野と高齢分野にまたがる地域課題について話す機会を持つことで「顔のみえる関係」を構築していただいていることが、この連携の礎になっていると感じています。

また、次期障害福祉計画においては、希望するすべての市民が計画相談を利用できること、を目標に掲げていますが、この大きな課題にむかって複数の相談支援事業所が協働して相談支援体制を担うしくみ作りがすでにスタートしています。これも日頃よりの市内各相談支援事業所から基幹相談支援センターへの信頼の厚さが土台になっていると思っています。

障害のある方が国分寺市で暮らすことができよかったです、とっていただけるよう、引き続きさまざまなことに取り組んでいけたらと考えています。何より、共に同じ目標に向けて協働することができ心よりうれしく思っています。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 国分寺市障害者基幹相談支援センター センター長 銀川 紀子

市内の相談支援事業所は、新規受付が限界に達しており、加えて2事業所の廃業、市直営の相談支援事業所（障害児）の民間委託が決定し、新規受入れ中止による影響で、年間150名のセルフプランが増加する試算が出ました。この問題を解決するには、相談支援事業所と相談支援専門員の増加を図るしかありません。

しかし、どの相談支援事業所も赤字で運営されており、相談支援専門員を増やす余力のある事業所はありませんでした。本当に解決できないのか、黒字運営している事業所はないのか調べたところ、都内に2事業所のみ、黒字運営されている事業所がありました。それが、社会福祉法人ソラティオ「ソラティオ23」という相談支援事業所でした。これまで計画相談は、基本報酬が低すぎると言われて来ましたが、報酬改定が進み、さまざまな加算もできました。「それでも赤字は改善しないのか？」という疑問を打ち砕くお話に、情報を取ることせず諦めていた姿勢を反省させられました。また、事業所単独で黒字化は難しい小さな事業所は、どうするのかという疑問にも、協働型機能強化という道があることもわかりました。埼玉県宮代町・杉戸町で「社会福祉法人じりつ 埼玉葛北障がい者生活支援センター ぶんだむ」「社会福祉法人宮代町社会福祉協議会 相談支援事業所ひまわり」「社会福祉法人杉風会 特定相談支援事業所 庄内」「MUT株式会社 相談 ROAD」の4事業所が「まるっと123」というチームを組んで連携し機能強化を取り、黒字化に向けて進んでいることがわかりました。いつの時代も困難に立ち向かい、先に進んでいる先輩がおり、自らが探し求めれば、必ず道は拓ける。今の私たちに一番必要な情報を教えていただき感謝いたします。そして、国分寺市も令和8年度に向けて全ての障害福祉サービスを必要とするみなさんに、相談支援専門員が寄り添える体制を障害福祉課と足並み揃えて進んで行きたいと思えます。



国分寺市では、障害のある人の相談をたらいまわしにしない。一度関わったらその手は離さず、みんなで少しずつ、チームで支えることを「チーム国分寺」と呼んでいます。

角田(つのだ)さんとの出会いは、2019年2月に、相談支援専門員と障害児の支援者を対象に支援のネットワークをつくる研修の講師としてお招きしたところからはじまります。

テーマに「発達に気がかりのある子どもと家族の実際」と掲げ、障害のある子どもの親に焦点を当てていただきました。つながるワーク(チーム・ビルディング)を通して、顔あわせのところから、支援者間のネットワークをつくっていただきました。これをきっかけに、障害児をテーマとした研修は、3年連続でお願いし、相談支援専門員を対象にした「研修」、個別ケースに関わる支援者を集めた「個別コンサルテーション」、自分たちの「基幹のコンサルテーション」へと角田さんとのつながりは広がっていきました。

振り返ってみますと、この6年で44回も国分寺市にお越しいただき、(1回2時間)88時間、延べ人数495名の支援者と関わっていただきました。参加者の中には篁一誠(たかむら・いっせい)先生のことを知らない人もいます。私自身も篁先生の講義を直接拝聴したのは1回限りです。

しかし、角田さんに受け継がれた篁先生の志は、確実に角田さんを通して多くの人に伝えられています。まるで水かさが増すように、ひたひたと静かに、確実に、私たちの中に蓄えられ、そして、今日も私たちは、自身の身をもってたくさんの人に関わっています。本当にいつも、ありがとうございます。

国分寺市障害者基幹相談支援センター センター長 **銀川 紀子**

<角田みずぶさんとのかわり in 国分寺>

	ネットワーク研修	相談支援専門員研修	個別コンサルテーション	基幹職員コンサルテーション
2018年度	1回 26名	—	—	—
2019年度	1回 34名	—	4回 63名	—
2020年度	1回 28名	—	7回 57名	2回 10名
2021年度	—	1回 16名	4回 33名	2回 10名
2022年度	—	1回 18名	5回 41名	3回 15名
2023年度	—	1回 14名	8回 61名	3回 17名
計	88名	48名	255名	52名

一般社団法人 篁 Takamura 協会 相談支援係長 **つのだ 角田みずぶ**  
(公認臨床心理師)



このコンサルテーションで心がけていることは、出されたケースに関わる全ての人に、それぞれ、お力があり、生き抜いておられる方々である、ということをお忘れしないことです。そして、最初にそのことをお伝えし、この時間を通して、この部屋を出るときにどうなっていたいかをお尋ねすると、たいてい、それが実現しています。

困難事例と名付けられている状態を、どんな組み合わせでそのように名付けられるようになったのか、関係者一人ひとりのまなざしや想い、痛み、無力感など、丁寧に暮らしの言葉をつかって、ひもとき、集った方々の真ん中にあるテーブル(ホワイトボード)に現していくこと。ホワイトボードの上には、皆さんのなかからでてきたもので彩られていきます。

そう、できるだけ、肯定的で温度があって有機的で彩のある表現で比喻して現すこと。私のすることは、皆さんのしていることを、そのように映し出す二次創作のようなものです。私たち家族を伴走くださった、篁一誠(たかむら・いっせい)氏のまなざしによって、自閉症の方々の生き方が、世間にあるものと全く異なるイキイキとしたものに塗り替わったように、私の中に、いきづく、このものさしを、みなさまに体験して頂けたことを、共有できたことを、嬉しく思います。

「一緒に」時間をすごし、共通の体験を通じて、今起こっていることを通訳していくことについて、機会を与えて頂き、許容して下さい、チームの一員として迎えて頂いたことに、あらためて感謝いたします。チーム国分寺!ステキです。これからもよろしく願いいたします。

## 2023年度活動実績

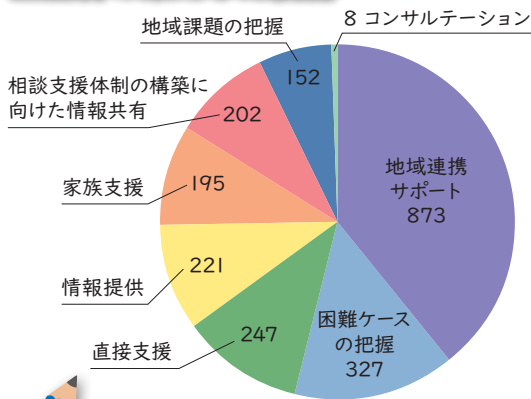
相談業務件数	3,510件				内容別件数(重複あり)	5,821件	
支援方法:(合計3,226件)							
訪問	来所相談	同行	電話	電子メール	会議	関係機関	その他
48	31	9	290	6	16	3,108	2

## 支援内容(※重複あり)

福祉サービス等の利用	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
926	301	295	187	21	380	132
生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	虐待防止	地域移行・地域定着	その他
404	63	58	68	23	59	118

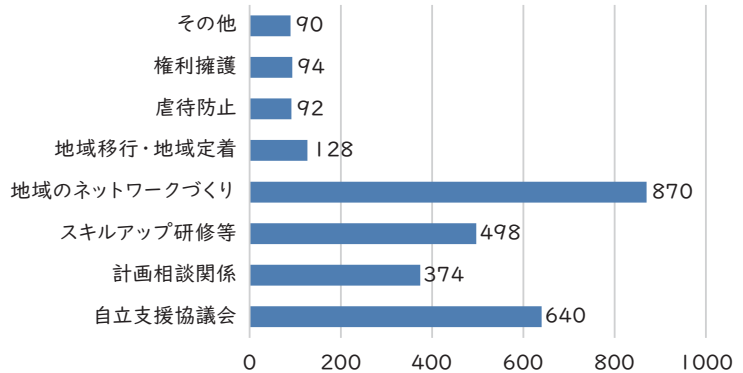
地域包括支援センターなどから8050世帯に関する相談等(2023年度126件(重複あり))が入ることで、本人だけでなく、家族を含む世帯への支援や、家族のもとを離れ、地域で自立した生活を送る上での本人の不安や困りごとなどへの支援の割合が増えてきています。

## 基幹の果たした役割



基幹に入る相談の約7割は関係機関からという特徴があります。これらの相談に対し、一緒に課題を整理する、関係機関同士のやり取りがスムーズに行えるようにするなど、支援者をサポートする役割が大部分を占めています。

## 地域の体制づくりに関する業務(※重複あり)



個別ケースに関する相談以外では、自立支援協議会に関すること、多分野多職種の実践者のネットワークづくりを目的とした研修の企画・運営など、地域のネットワークづくりに関する業務や、相談支援専門員の業務(計画相談)に関する情報提供、勉強会の開催などの業務の割合が大部分を占めています。

## 障害のある方むけの「防災情報」まとめサイト

大きな地震や台風などの災害に備えるためには、必要なものや助けてくれる人を事前に確認することが大切です。本サイトでは、障害のある方の災害対策の情報を紹介しています。「もしも」に備えることで、安全で安心な生活を目指しましょう。



名刺サイズチラシ(裏面)



障害のある方むけの「防災情報」まとめサイト



kakubunji-kikan-towaple.com

## コンテンツ シーン別に分類された防災情報をゲットしよう!

### 【準備】

災害はいつ起きるかわかりません。いざというときに備えて、事前に知っておくべき「防災情報」をまとめました。

### 【情報収集】

災害が発生したとき、大切なことの一つは、災害の規模や地域の状況、危険なエリアなどの情報です。これらの必要な情報を「取得する方法」などをまとめました。

### 【避難行動】

緊急時に避難する場所や、勧告を受けて避難する場所をご存じですか。「避難行動」に関する情報をまとめました。

### 【安否確認】

家族や友人、身のまわりの方に、安否を確認したり報告するための情報をまとめました。

### 【マニュアル】

当事者の経験から学ぶ被災時の支援など、障害のある方やその家族、支援者の皆さまに役立つ情報、マニュアルなどをまとめました。

## 「国分寺市障害者基幹相談支援センター Annual Report(アニュアル・レポート)2023」

令和6年(2024年)5月21日発行

社会福祉法人 万葉の里 国分寺市障害者基幹相談支援センター

〒185-0002 東京都国分寺市東戸倉2-7-26 KOCO・ジャム 2階

電話: 042-320-1300 FAX: 042-313-8823 <https://kokubunji-kikan-towaple.com/>



\*この冊子は、環境に優しい原材料を使用しています。

印刷: 社会福祉法人 東京コロニー